

第3章 京急空港線と京急大師線

第1節 京急空港線（羽田空港駅～京急蒲田）

羽田空港(12:25)～天空橋(13:05)～穴守稲荷(14:24)～大鳥居(14:36)～
糀谷(こうじや、14:54)～京急蒲田(15:12)

第249回のウォーキングは、2009年2月21日(土)快晴の中実施。本日は人間ドックフォローのため午後からとなる。東海大学病院を11時過ぎに出、代々木駅前で好物のかき揚げを食べて、山手線で品川駅に向かう。品川駅から京急線で羽田空港駅まで行く。天空橋駅から羽田空港駅まで地下路線となり、方向性が全く分からず。羽田には12時25分到着。



羽田空港駅

羽田空港の詳細な地図を持参していなかったため、京急線がどの方向に走っているか分からず。それで正面の案内も含め「天空橋駅の方角と天空橋まで歩けるか否かについて」を数人の人に尋ねる。しかし、正しく回答は得られなかった。が、環八があり何となく歩ける感じであったので、勇気を出して歩くことにする。道路標識の環八の方向性はあるものの、案内が不明確で理解できず。100m位進んで途中で引き返す。蒲田・川崎方面の道路標識を見つけ直進する。途中で歩道が途切れる。一人通行人に尋ねるが無視される。日本人に見えたが、外国人であったのかも知れない。暫く行くと数百メートルのトンネルとなる。トンネルの近くには飛行機が止められていた。トンネルの左側に幅50cm位の歩道が続いていた。この歩道は道路から1m位の高さにあった。この歩道は後でわかったのであるが、作業通路のとのことであった。幅が狭く歩くのに骨が折れる。



天空橋駅への道

13時12分、やっとトンネルを出る。遠くにモノレールを見つける。トンネル（空港アクセス）から100m位行った先で、2台のパトカーがやってくる。温厚な感じの警察官が助手席から降りるやいなや、「どちらに向かうのですか。大丈夫ですか。先程通報がありやって来ました。ここは本来歩行者の立ち入り禁止地区ですが、年間数人誤って立ち入る人がいます。因みに貴方が本年の立ち入り者の第1号です。遠回りですが歩ける道は川沿いにあります。」との説明がある。「私は休みを利用し色々な鉄道つたい歩きをしています。自費出版予定の東海道本線踏破の原稿ゲラを見せながら、本日は京急空港線と大師線を歩くために来ました。数人に路を尋ねました。何となく歩ける感じであったので励行しました。」と応対する。「わかりました。凄いですね。天空橋の方向は突き当たりを左折した先にあります。お気をつけて行って下さい。上司に報告する都合がありますので、氏名と住所を教えてくださいませんか。」旨の事情聴取がある。それで、別の警官の方に氏名・住所を教える。5分程度警察官と会話する。

13時25分、突き当たりの道路に出る。この道路が環八であった。道路に沿ってモノレールが頭上にあった。13時50分、京急天空橋駅に到着。近くには東京モノレールの天空橋駅があった。この近郊は平成12年ウォーキングを開始早々に来たことがある。13時55分、飛行機のデザインがある穴守橋（海老取川）に到着。天空橋の高欄にはデザインされた飛行機の機種があった。一例として次の通り。

1783 モンゴルフイエ熱気球（世界最初の気球飛行）

1903 ライト兄弟フライヤー1号

1962 YS-11（戦後初の国産旅客機）

1965 ボーイング 747（ジャンボ機の幕開け）



穴守橋



穴守稲荷駅

大鳥居駅



糀谷駅

京急蒲田駅

下町情緒がある駅前に赤い鳥居がある穴守稲荷駅には 14 時 24 分到着。100m位行き過ぎていた。14 時 35 分、東横インが近くにある大鳥居駅には 14 時 36 分到着。この辺りから賑やかになる。14 時 54 分、糀谷（こうじや）第 1 号踏切を渡った先に糀谷駅（線路の右側）があった。再度渡った踏切を戻る。線路の左側をつたい歩きする。15 時 12 分、京急蒲田駅に到着する。箱根駅伝で登場する踏切で上下の電車（共に 8 両編成）を待つ。下りは北総線の日本医大行の電車（急行）であった。

第2節 京急大師線（小島新田～京急川崎）

（京急空港線踏破後踏破）



小島新田駅 産業道路駅

小島新田(15:39)～大師橋(15:55)～東門前(16:06)～川崎大師(16:38)～
鈴木町(16:50)～港町(17:02)～京急川崎(17:24)

京急蒲田駅発 15 時 21 分の特快（三崎口・浦賀行き）で京急川崎駅まで移動。品川と同様目的地までノンストップであった。電車は 12 両・8 両・6 両編成の電車の表示があった。そこから 15 時 28 分発の小島新田（こじましんでん）行きに乗り継ぐ。4 両編成の電車が京急本線の電車を待ち合わせていた。2 階ホームから 1 階ホームとなる。空港線・大師線ともに単線であった。大師線は東武鉄道の大師線と同様、京急川崎駅と小島新田駅のピストンダイヤであった。15 時 39 分に小島新田駅に到着する。駅前にはタクシーが 1 台待ち合わせていた。駅前近くには庄やと養老乃瀧があった。空港線や大師線の駅舎は品川から横浜までの駅舎とは様相が異なり、個人的な顔をしていた。鉄道の左側を歩き産業道路駅を目指す。15 時 51 分、産業道路第 1 踏切道を横切る。田町歩道橋（？）の先に産業道路駅（大師橋駅：15 時 55 分）があった。神秘的・近代的な川崎大師に関するビルが右手に見えてくる。16 時 6 分、東門前駅に到着。先週の京急線に引き続き、大師線も空港線も駅間隔が 1 Km 未満のところが多かったので、駅の未踏破に非常に神経を費やす。



東門前駅

東門前第1踏切を横切り鉄道の左側に出る。川崎大師への路が続いていた。その路に従って進む。16時11分、川崎大師本通商店街を通過。16時16分、大師仲見世の門を潜る。沢山の土産店（名物ののど飴を中心）があった。この川崎大師は十年位前に両親と一緒に来たことがあり感無量であった。20分程度川崎大師に足を止める。お土産にくずもち（住吉）ときなこ飴（松屋）を購入する。行儀は悪いが、寺小屋本舗のごま煎餅を頬張りながら歩く。



川崎大師

川崎大師を出てもお土産が沿道に沢山あった。16時38分、川崎大師駅に到着。近くにイトーヨーカドーがある鈴木町駅（ちょう）には16時50分到着。引き続き港町駅（ちょう）には17時2分到着。17時6分、線路の下を潜り鉄道の右側に出る。多摩川の土手が続いていた。数分歩くと鉄道は道路下で右手に消えて行く。ここからは先週と同じ路筋を進む。



川崎大師駅 鈴木町駅

京急川崎駅には17時24分に到着。17時37分の南武線を利用して自宅へ。乗り継ぎが悪く時間のロスが続く。寒い中小田急登戸駅で特急や快速急行の通過待ちがある。中央林間から自宅まで歩いて帰る。自宅には19時35分到着。本日の営業キロは11km（空港線＝6.5km, 大師線＝4.5km）、万歩計は33,949歩だった。本日で京急線の全線を踏破する。充実した一日だった。



港町駅 京急川崎駅